

東京都立三田高等学校 令和7年度 学校評価アンケート結果

1 実施状況・回収状況

調査対象	令和7年度			令和6年度			令和5年度		
	依頼数	回収数	回収率	依頼数	回収数	回収率	依頼数	回収数	回収率
生徒	865名	854名	98.7%	852名	818名	96.0%	857名	765名	89.3%
1年生	277名	275名	99.2%	280名	276名	98.6%	316名	294名	93.0%
2年生	282名	279名	98.9%	308名	294名	95.5%	264名	250名	94.7%
3年生	306名	300名	98.0%	264名	248名	93.9%	277名	221名	79.8%
保護者	865名	653名	75.4%	852名	516名	60.8%	857名	624名	72.8%
1年保護者	277名	235名	84.8%	280名	195名	69.6%	316名	241名	76.3%
2年保護者	282名	211名	74.8%	308名	182名	59.1%	264名	198名	75.0%
3年保護者	306名	207名	67.6%	264名	141名	53.4%	277名	185名	66.8%
教員	50名	50名	100%	54名	54名	100%	54名	54名	100%

- ・令和7年12月から翌年1月にかけて、全生徒・保護者・教員を対象として、Classiまたは紙ベースでアンケートを実施した。
- ・回収率は全体で一昨年、昨年度よりやや高くなった。
- ※生徒・保護者ともに赤字の数値で入学年度からの変化を見ることができる。

2 評価結果の概要

(1) 回答内容の全体的な傾向

回答内容	肯定的回答 (1+2)			否定的回答 (3+4)			「5 わからない」		
	R7	R6	R5	R7	R6	R5	R7	R6	R5
1年生	80.3%	78.1%	78.4%	19.7%	21.9%	21.6%			
2年生	81.8%	75.4%	76.5%	18.2%	24.6%	23.5%			
3年生	82.6%	77.9%	79.9%	17.4%	22.1%	20.1%			
<b>生徒</b>	<b>81.6%</b>	<b>77.1%</b>	<b>78.2%</b>	<b>18.4%</b>	<b>22.9%</b>	<b>21.8%</b>			
1年保護者	70.8%	69.8%	69.0%	11.3%	12.8%	12.8%	17.8%	17.4%	18.5%
2年保護者	70.9%	71.3%	70.9%	11.3%	13.0%	12.8%	17.8%	15.7%	15.2%
3年保護者	75.2%	74.0%	75.9%	10.8%	12.2%	11.4%	14.0%	13.8%	14.2%
<b>保護者</b>	<b>72.3%</b>	<b>71.6%</b>	<b>71.7%</b>	<b>11.1%</b>	<b>12.7%</b>	<b>12.4%</b>	<b>16.5%</b>	<b>15.7%</b>	<b>16.1%</b>
<b>教員</b>	<b>82.7%</b>	<b>83.7%</b>	<b>84.1%</b>	<b>17.3%</b>	<b>16.3%</b>	<b>15.9%</b>			

- ・生徒については令和7年度において各学年とも肯定的回答が増加している。令和元年度以降今日まで、保護者の平均を上回っている。
- ・保護者の肯定的回答の平均は昨年度、一昨年度よりやや増加している。生徒・保護者の否定的回答は減少している。

- ・教員の肯定的回答の平均は一昨年・昨年と下降傾向を示している。逆に否定的傾向がやや増加している。

## (2) 肯定的回答が多い項目・少ない項目・保護者にとってわかりにくい項目 (資料1、3参照)

- ・教員では、全28項目中、肯定的回答が5項目で90%以上、5項目で100%である。  
令和6年度 全28項目中、11項目で90%以上、1項目で100%  
令和5年度 全28項目中、8項目で90%以上、4項目で100%

### <肯定的回答が多い項目> 高回答率…95%以上

- ・生徒では3学年とも「⑱体罰・いじめがない」では、肯定的回答が99%であり、それに続き3学年とも「⑥教員の学習上の質問への対応」「①入学満足度」「⑳生徒からの相談連絡への対応」「⑯学校行事」の肯定的回答が高回答率を示している。
- ・教員では、「⑥学習上の質問」の項目が3年連続して肯定的回答が100%である。それに続き「①入学満足度」「⑯学校行事の取り組み」「⑤教員の教材・教え方の工夫」「⑱体罰・いじめがない」「②三田高校が進学指導校と知る」「③真面目に授業に取り組む」「⑳相談・連絡への対応」の項目で肯定的回答が高回答率になっている。
- ・保護者では、「①入学満足度」「⑪進路や将来のについて考えている」「⑱体罰やいじめがない」「⑯生徒の学校行事への取組」「②進学指導推進校指定を知る」の順に肯定的回答が高回答率であった。

### <肯定的回答が少ない項目>

- ・教員では、3年連続して、「⑦施設設備」で肯定的回答が突出して少ない。令和5年から、7.5%。13%。20%である。次いで「⑧校内整備(整美)への努力」の順に少ない。28項目中19項目は80%以上であった。
- ・生徒では、「⑦施設設備」「⑧校内整備への努力」「⑳GE-NET20」指定の順で、肯定的回答が少なかった。「⑳GE-NET20」は「英語教育推進校」の発展的取り組みであるが、名称としては認知度が低かった。
- ・保護者では、3年連続して「⑦施設設備」で肯定的回答が突出して少ない。「㉑地域との良好な関係」「㉒GE-NET20の成果」「⑨適切な防災教育」順で少なかった。

### <保護者にとってわかりにくい項目>

- ・保護者の「わからない」の回答については、毎年「㉑地域との関係」「㉒GE Net20の成果」「⑨適切な防災教育」で「わからない」が多い。また、東京都教育委員会指定事業の成果や教員の指導や対応に関する項目が多い。
- ・「⑥教員の学習上の質問への対応」「⑳相談や連絡への適切な対応」について、生徒では肯定的回答がそれぞれ高回答であるのにたいして、保護者の回答では「わからない」が多いために、肯定的回答が多くない。

## 3 項目別評価結果<過去3年間の肯定的回答の割合の推移>

項目別に肯定的回答及び保護者の「わからない」の回答の3年間の推移に基づいて考察する。

(1) 入学満足度・指導方針について

	年度	1年生	2年生	3年生	生徒	1年生 保護者	2年生 保護者	3年生 保護者	保護者	教員
①「入学してよかったと思いますか。〈教員〉三田高校に入学してよかったと思っている生徒・保護者が多いと思いますか。	R7	96.7%	97.1%	96.0%	96.6%	95.7%	95.7%	97.6%	96.3%	100%
	R6	96.7%	93.9%	96.0%	95.5%	96.5%	95.6%	97.5%	96.5%	98.1%
	R5	96.1%	94.0%	94.6%	94.9%	96.3%	97.5%	95.1%	96.3%	100%
②三田高校の「教養・探究・立志そして世界へ」というスローガンを知っていますか。	R7	74.5%	80.6%	72.3%	75.8%	76.6%	77.3%	80.7%	78.1%	94.0%
	R6	80.1%	73.1%	69.5%	74.4%	74.1%	75.1%	76.1%	75.1%	92.6%
	R5	74.4%	68.8%	75.1%	72.7%	74.3%	71.7%	73.0%	73.1%	92.3%

- ・①「入学満足度」生徒・保護者・教員ともに3者とも肯定的回答が多い(全設問中、生徒では3番目に多く、保護者では最も多い)。
- ・②「スローガンを知っている」生徒は他の設問に比べて肯定的回答が少ない。

(2) 学習について

	年度	1年生	2年生	3年生	生徒	1年生 保護者	2年生 保護者	3年生 保護者	保護者	教員
③※あなた(あなたのお子さん)は、真剣に授業に取り組んでいますか。	R7	93.8%	90.3%	90.7%	91.6%	84.7%	85.8%	86.5%	85.6%	96.0%
	R6	91.3%	90.3%	89.9%	89.9%	88.8%	82.9%	81.1%	84.3%	96.3%
	R5	91.5%	86.0%	89.6%	89.1%	83.8%	82.8%	83.2%	83.3%	100%
④※あなた(あなたのお子さん)は、主体的に自宅学習に取り組んでいますか。	R7	60.7%	66.3%	92.7%	73.8%	74.0%	64.0%	88.9%	75.5%	73.5%
	R6	57.6%	63.3%	91.2%	69.8%	72.4%	71.3%	85.5%	76.1%	77.8%
	R5	52.1%	67.2%	85.1%	66.8%	64.7%	70.2%	83.8%	72.1%	86.8%
⑤三田高校には、教材や教え方に様々な工夫をしている教員が多いと思いますか。	R7	89.5%	87.1%	86.7%	87.7%	52.1%	55.5%	61.4%	56.1%	100%
	R6	83.3%	80.3%	80.7%	81.4%	50.6%	53.6%	57.2%	53.7%	98.0%
	R5	87.5%	78.8%	81.4%	82.8%	49.4%	50.0%	62.7%	53.5%	98.0%
⑥三田高校では、学習上の質問に教員は、適切に答えていると思いますか。	R7	96.4%	97.5%	97.0%	97.0%	61.3%	64.9%	74.9%	66.8%	100%
	R6	97.5%	96.6%	96.4%	96.8%	60.9%	64.6%	73.6%	66.2%	100%
	R5	97.5%	95.2%	95.9%	96.3%	60.0%	59.1%	78.4%	65.2%	100%

- ③ <教員>三田高校には真剣に授業に取り組む生徒が多いと思いますか。
- ④ <教員>三田高校には、主体的に自宅学習に取り組む生徒が多いと思いますか。
- ⑤ <教員>あなたは、教材や教え方に様々な工夫をしていますか。
- ⑥ <教員>あなたは、学習上の質問に適切に答えていると思いますか。

- ・③「授業への取組」生徒・保護者とも高評価である。教員は100%で評価が高い。三者ともに、生徒は真面目に授業に取り組んでいると評価している。各学年とも自己評価が高い。
- ・④「自宅学習への取組」直近3年間で3年生が1・2年生より自宅学習について評価が高い。3年保護者は我が子の自宅学習の努力を認め、1・2年生の保護者は自宅学習への期待が読み取れる。直近3年間共通して生徒・保護者共に受験を控えている3年生の肯定的回答が突出して多い。

- ・⑤「教員の教材・教え方への工夫」、⑥「教員の質問への対応」教員は100%であり、生徒も平均97%で高評価である。日々行われている放課後等、質問コーナー(屋台等での)における質問体制の反映か。教員は⑤「教材や教え方の工夫」では100%を維持している。「保護者では、「わからない」が多く、生徒と比べて肯定的回答がかなり少ない。昨年度も今年度も保護者においては同様の傾向を示している。実際の授業の様子を見る機会が巢ないことも影響していると思われる。

(3) 施設・設備(学習環境)、校内美化について

	年度	1年生	2年生	3年生	生徒	1年生保護者	2年生保護者	3年生保護者	保護者	教員
⑦三田高校の施設や設備は、学習環境として適切なものだと思いますか。	R7	38.2%	43.0%	53.0%	45.0%	28.6%	27.0%	30.4%	28.7%	20.0%
	R6	36.2%	46.3%	40.6%	41.1%	28.4%	27.6%	34.6%	30.1%	13.0%
	R5	42.0%	41.2%	48.9%	43.8%	25.0%	30.5%	39.5%	31.0%	7.5%
⑧三田高校では、生徒や教員が校内整美や美化に努めていると思いますか。	R7	55.3%	53.0%	61.0%	56.6%	58.5%	54.0%	60.4%	57.7%	46.0%
	R6	47.1%	51.2%	52.6%	50.2%	56.2%	62.2%	66.7%	61.6%	50.0%
	R5	49.5%	48.4%	52.3%	49.9%	53.3%	61.6%	66.8%	60.0%	49.1%

- ・⑦「施設・設備」肯定的回答が全項目中、生徒・保護者・教員共に1番少なく、教員に至っては肯定的回答が20%しかない。経営企画室を中心に、施設の破損状況を随時修繕要望として提出し、生徒の安全に配慮した施設管理を行い、学習環境の保全に日ごろから努めている。
- ・⑧「校内美化」肯定的回答が生徒は微増している。しかし、肯定的回答が生徒では3番目、教員では2番目に少ない。保護者では肯定的回答が過半数ではあるが、全設問中下位に属している。保健部や整理委員会、保健委員会が中心となり、清掃用具の整備・ゴミ分別の徹底、教室内の換気や加湿等、校内美化と環境整備に努めているが、日常の清掃活動や校内美化に対する学校全体での意識をさらに高めて取組を継続する必要がある。

(4) 進路指導・キャリア教育等について

	年度	1年生	2年生	3年生	生徒	1年生保護者	2年生保護者	3年生保護者	保護者	教員
⑨三田高校では、生徒・保護者が必要とする進路情報を提供し、適切な進路指導をしていると思いますか。	R7	93.5%	90.7%	92.0%	92.0%	81.2%	81.0%	83.6%	81.9%	88.0%
	R6	96.0%	92.5%	88.8%	92.6%	72.2%	84.4%	88.7%	81.7%	88.2%
	R5	92.5%	91.6%	93.3%	92.4%	75.8%	84.8%	87.0%	82.0%	93.9%
⑩三田高校では、将来の在り方や生き方を考える様々な機会を得られていると思いますか。	R7	89.1%	89.2%	89.0%	89.1%	85.0%	79.5%	81.6%	82.2%	87.8%
	R6	89.9%	87.0%	88.8%	88.5%	80.5%	79.9%	79.2%	79.9%	96.2%
	R5	90.7%	86.4%	86.0%	87.9%	82.9%	74.7%	80.9%	79.7%	86.0%
⑪あなたは、(お子さんは)自分の進路や将来の生き方について考えていますか。	R7	82.2%	90.0%	88.3%	86.9%	92.7%	93.3%	97.1%	94.3%	92.0%
	R6	87.7%	84.4%	89.2%	86.9%	91.7%	93.9%	96.9%	94.1%	92.5%
	R5	91.6%	79.4%	82.3%	84.7%	93.8%	93.7%	95.5%	94.2%	86.7%
⑫三田高校では、将来や世界に向けて視野を広げる機会が得られていると思いますか。	R7	91.3%	90.7%	91.3%	91.1%	89.3%	86.7%	87.9%	88.0%	89.8%
	R6	95.3%	84.7%	84.3%	88.2%	87.6%	86.6%	84.9%	86.4%	88.5%
	R5	89.2%	86.4%	87.8%	87.9%	85.4%	84.8%	82.5%	84.3%	88.2%

⑨<教員>あなたは、生徒・保護者が必要とする進路情報を提供し、適切な進路指導をしていますか。

⑩<教員>あなたは、将来の在り方や生き方を考える様々な機会を与えていますか。

⑪<教員>三田高校には、自分の進路や将来の生き方について考えている生徒が多いと思いますか。

- ・⑨「適切な進路指導」生徒・保護者・教員ともここ3年間同程度で高評価を得ている。1年保護者で、「わからない」の回答も大きな変化がない。
- ・⑩「将来を考える機会」教員の肯定的回答は高評価であるが昨年より減少した。生徒・保護者とも大きな変化が見られない。
- ・⑪「将来について考えている」生徒は学年が上がるにつれて肯定的回答が増加している。3年保護者が常に突出しているのが興味深い。
- ・⑫「視野を広げる教育」生徒・保護者・教員の肯定的回答は微増している。

(5) 生活指導について

	年度	1年生	2年生	3年生	生徒	1年生保護者	2年生保護者	3年生保護者	保護者	教員
⑬あなた（あなたのお子さん）は、基本的な生活習慣が身に付いていると思いますか。	R7	79.3%	81.7%	86.0%	82.4%	79.3%	73.8%	85.0%	79.3%	84.0%
	R6	77.5%	78.2%	77.9%	77.9%	78.1%	77.7%	77.4%	77.7%	81.5%
	R5	75.4%	75.6%	79.2%	76.6%	77.4%	76.8%	85.8%	79.7%	86.8%
⑭あなた（あなたのお子さん）は、規範意識を持っていると思いますか。	R7	89.8%	94.6%	91.7%	92.0%	87.6%	89.0%	87.9%	88.2%	80.0%
	R6	93.8%	92.9%	92.4%	93.0%	90.5%	87.7%	86.1%	88.1%	81.5%
	R5	94.0%	89.2%	87.8%	90.6%	87.4%	84.3%	88.5%	86.8%	88.7%
⑮あなた（あなたのお子さん）は、品位ある行動ができていますか。	R7	90.5%	92.8%	91.7%	91.7%	89.3%	86.2%	90.8%	88.8%	68.0%
	R6	95.7%	90.5%	92.0%	92.7%	94.1%	86.5%	84.1%	88.3%	75.9%
	R5	92.2%	86.4%	88.7%	89.2%	87.9%	82.8%	88.5%	86.5%	84.9%

⑬<教員>三田高校には、基本的な生活習慣が身に付いた生徒が多いと思いますか。

⑭<教員>三田高校には、規範意識を持った生徒が多いと思いますか。

⑮<教員>三田高校には、品位ある行動ができる生徒が多いと思いますか。

- ・⑬「基本的な生活習慣」生徒の肯定的回答は学年が上がるほど増加した。保護者は2年生がやや低かった。
- ・⑭「規範意識」肯定的回答について2学年が漸増だが、1学年・3学年も高評価である。保護者は学年間の差があまり見られず、肯定的回答もここ3年間大きな変化はない。教員では過去3年間で評価が低下している。
- ・⑮「品位」生徒全体は肯定的回答が増加している。これまでと比較して、1年生の自己評価が少し低いのが気になる。3年生保護者にとってここ3年間では高い評価をしている。教員の評価においては、厳しい評価になっている。
- ・生徒・保護者・教員ともに概ね、規範意識を持ち、品位ある生徒が多いと評価していると判断できるが、日ごろから基本的な生活習慣の育成や規範意識、品位について、教員の共通理解を図り、継続して組織的に指導に取り組む必要がある。

(6) 特別活動・学校生活等について

	年度	1年生	2年生	3年生	生徒	1年生 保護者	2年生 保護者	3年生 保護者	保護者	教員
⑩あなた(あなたのお子さん)は、学校行事に積極的に取り組んでいますか。	R7	97.1%	96.8%	93.7%	95.8%	94.4%	91.9%	92.8%	93.1%	100%
	R6	95.7%	92.2%	94.4%	94.0%	92.9%	92.7%	92.4%	92.7%	98.1%
	R5	93.6%	93.6%	90.0%	92.6%	93.3%	90.9%	89.6%	91.5%	98.1%
⑪あなた(あなたのお子さん)は、部活動に積極的に取り組んでいますか。	R7	94.4%	93.2%	93.3%	93.7%	92.2%	84.8%	87.4%	88.3%	84.0%
	R6	92.5%	89.2%	92.9%	91.5%	84.6%	84.7%	87.9%	85.7%	92.6%
	R5	91.0%	92.0%	89.5%	90.9%	86.6%	86.4%	84.2%	85.8%	92.5%

⑩<教員>三田高校には、学校行事に積極的に取り組む生徒が多いと思いますか。

⑪<教員>三田高校には、部活動に積極的に取り組む生徒が多いと思いますか。

・⑩「学校行事」⑪「部活動」において、

- ・⑩「学校行事」は、生活指導部が学年と連携して指導し、生徒による実行委員会が主体的に運営する体制が定着し、指導における教員の共通理解と生徒のモチベーションが高まっている。今年度も昨年同様1学期の体育祭は外部実施ができた。保護者の現地見学も可能になり盛り上がりを見せた。2学期の文化祭(白珠祭)も制限なく実施でき、生き生き活動できていた。2年生の台湾への修学旅行は無事実施でき、国際交流を基盤にしたプログラムであり、生徒たちにとって国際化をはぐくむ良い機会となった。3学期の合唱コンクールは外部会場で、しかも保護者にも公開できた。各クラスで練習を重ねその成果が発揮された。学校行事は制約が多い中、生徒が主体となって学校行事に取り組んだことが高評価結果に繋がっていると考えられる。
- ・⑪「部活動」については、34の部・同好会を設置し、延べ加入率は毎年100%を超える。(今年度107%)教員は2～3の部の顧問を担当し、部活動の活性化を図っている。部活動のガイドラインに基づき、活動日や時間を制限してきたが、コロナ禍も安息し、積極的活動が定着し、三者ともに高い評価となった。今年度はどの部活動も限られた時間の中で精一杯の努力を見せていた。

	年度	1年生	2年生	3年生	生徒	1年生 保護者	2年生 保護者	3年生 保護者	保護者	教員
⑫三田高校では、体罰やいじめを受けずに安心して学校生活を送れていますか。	R7	98.9%	99.6%	99.0%	99.2%	94.0%	92.9%	95.2%	94.0%	96%
	R6	97.8%	99.0%	99.2%	98.8%	94.1%	94.4%	97.5%	95.2%	98.1%
	R5	99.3%	100%	99.1%	99.5%	95.0%	91.9%	92.3%	93.2%	100%
⑬三田高校では、防災教育等の安全への取り組みが適切に行われていると思いますか。	R7	69.6%	72.8%	73.6%	72.0%	39.2%	47.1%	56.5%	47.3%	60.4%
	R6	59.8%	71.0%	71.4%	67.3%	38.5%	53.4%	54.8%	48.8%	66.7%
	R5	61.6%	71.6%	62.9%	65.3%	36.8%	41.9%	56.3%	44.2%	68.6%

- ・⑫「体罰・いじめがない」肯定的回答が生徒・保護者の全学年で90%を超え、生徒では全項目中で最も多く、保護者では4番目に多い。教員では96%と三者ともに評価が高い。今後もSNS学校ルール等の指導やいじめ調査(年3回)・体罰調査の聞き取りを中心に情報収集を丁寧に継続していくことが重要である。
- ・⑬「防災教育」肯定的回答は生徒においてが一時減少を見せた。新型コロナウイルス対応により、1年生で実施していた宿泊防災訓練が中止となり、避難訓練も放送による訓練となったこと等が大きな要因と考えられる。今年度は毎月避難訓練が行われ、各学年防災意識の高まりが定着しつつある。体験的・実践的訓練には制約があるが、生徒の意識に残る避難訓練・防災訓練を繰り返し実施する等、首都直下型地震等の地震災害や巨大台風の襲来、気候変動による気象災害に備え防災教育の充実を図る必要がどの学校にもある。

(7) 生徒・保護者への対応、地域との連携について

	年度	1年生	2年生	3年生	生徒	1年生 保護者	2年生 保護者	3年生 保護者	保護者	教員
--	----	-----	-----	-----	----	------------	------------	------------	-----	----

⑳＜生徒・保護者＞三田高校では、生徒・保護者からの相談や連絡に、適切に対応していると思いますか。	R7	94.9%	96.1%	95.0%	95.3%	65.9%	74.3%	80.7%	73.3%	98.0%
	R6	97.1%	94.2%	93.9%	95.1%	63.1%	74.7%	86.6%	74.2%	96.2%
	R5	96.8%	92.0%	94.1%	94.4%	66.1%	76.1%	83.1%	74.3%	98.0%
㉑三田高校は、地域の方々と良い関係を築いていると思いますか。	R7	72.0%	71.0%	70.6%	71.2%	39.2%	42.4%	47.6%	42.9%	80.0%
	R6	58.0%	51.9%	57.3%	55.6%	39.6%	39.9%	43.3%	40.9%	83.3%
	R5	71.2%	67.6%	69.7%	69.5%	38.1%	38.1%	52.5%	42.3%	82.7%

⑳＜教員＞あなたは、生徒・保護者からの相談や連絡に、適切に対応していますか。

- ・⑳「相談・連絡への対応」肯定的回答が生徒は90%超、保護者は約70%程度、教員も98%と高い評価を得ている。保護者では「わからない」が毎年20%以上あり。肯定的回答は教員・生徒と比較すると20%以上少ないが3年保護者は毎年高い評価を得ている。
- ・㉑「地域との良い関係」教員では肯定的回答が3年以上前までは90%台で推移していた。今年度は80%と減少している。保護者では「わからない」が1年・2年・3年の順に多く、全体では過半数となり、例年とほぼ同様に全設問中で最も多い。保護者の肯定的回答は逆に学年が上がるにつれて高くなっているが、全設問中で4番目に少ない。隣接する赤羽小学校からの地域探検（学校見学）や三田中学校の学校説明に行ったりしているがあまり生徒たちや保護者に知られていない。中学校、地域との連携を深め、保護者への通知やホームページ等による情報発信の充実を図ることが重要である。

#### (7) 東京都教育委員会指定事業について

- ・東京都教育委員会指定事業については、平成29年度から取組内容を示した形に変更し、回答しやすいように工夫をしている。認知度は各事業で生徒・保護者ともに様々であったが、保護者の方が生徒より少し高い値になっている。各事業の成果については、保護者では「わからない」が多く、肯定的回答は生徒より少ない。事業の成果については、保護者には評価が難しいと思われる。

	年度	1年生	2年生	3年生	生徒	1年生保護者	2年生保護者	3年生保護者	保護者	教員
㉒三田高校が、「進学指導推進校」に指定されていることを知っていた。	R7	87.3%	91.0%	84.0%	87.4%	90.9%	85.7%	94.2%	90.3%	100%
	R6	84.8%	82.6%	84.0%	82.9%	91.7%	93.8%	94.3%	93.3%	96.3%
	R5	81.9%	78.4%	78.7%	79.8%	89.5%	90.3%	91.8%	90.4%	96.0%
㉓「進学指導推進校」としての三田高校の事業による成果があがっている。	R7	88.0%	84.6%	86.3%	86.3%	65.1%	61.4%	73.8%	66.7%	89.6%
	R6	80.1%	76.5%	77.0%	77.8%	69.8%	62.1%	70.7%	67.4%	88.9%
	R5	83.3%	77.2%	80.1%	80.3%	61.3%	66.2%	73.2%	66.4%	90.6%

- ・㉒「進学指導推進校」の認知度については、生徒は昨年同様で、保護者は昨年度より少し低くなっている。
- ・㉓成果については、肯定的回答が生徒では80%台、保護者では70%を下回った。学年別で見ると、生徒・保護者ともに受験を控えた3年生で最も多い。

	年度	1年生	2年生	3年生	生徒	1年生保護者	2年生保護者	3年生保護者	保護者	教員
㉔オンライン学習やICT機	R7	82.5%	74.9%	63.0%	73.2%	63.8%	53.8%	56.3%	58.2%	82.0%

器及びクラウドを活用した学習は生徒（あなた…あなたのお子さん）の学習に対する理解を高めている。	R6	71.3%	51.2%	56.5%	59.6%	53.6%	56.8%	55.4%	55.3%	74.1%
	R5	65.7%	59.2%	63.8%	63.0%	50.6%	57.9%	59.6%	55.6%	67.9%
㊸課題研究やホームプロジェクト等の三田高校の探究学習への取組による成果があがっている。	R7	70.2%	62.0%	64.7%	65.6%	60.2%	56.2%	64.1%	60.1%	70.0%
	R6	68.7%	52.9%	68.1%	62.9%	56.5%	62.3%	59.2%	59.4%	68.5%
	R5	70.7	62.8%	70.6%	68.0%	53.6%	59.2%	57.9%	56.7%	72.5%

㊴R2年度 三田高校が、「知的探究イノベーター推進校」に指定されていることを知っていた。

㊵R2年度 「知的イノベーター推進校」としての三田高校の事業による成果があがっている。

・㊴「オンライン学習やICT 機器及びクラウドを活用した学習」今年度本校は、東京都から「TOKYO デジタルリーディングハイスクール」の指定を受け、新たに定期考査採点・分析システムの活用やデジタルデータ等活用した個別の学び、協働的な学びの実践的研究校となり、生徒にとっても教員にとっても新しいシステムが入ってきている。それらの導入はまだ過渡期で、生徒にとっても教員にとってもまだ、十分な熟練状態になっていない。そのあたりが、生徒・保護者の肯定的回答に影響があったと思われる。これら ICT 機器の効果的な活用は今後に向けて課題である。

㊵「探究学習の取組による成果」生徒・教員による肯定的回答は昨年と大きな変化はない。保護者はやや増加傾向にある。最近1年次から探究活動に必要な知識・考え方や技能を身に付けさせる指導をしている。また、先進校の視察も行い、本校の指導向上に努めている。

三田高校生は、学習、学校行事、部活動等そのどれにも一生懸命取り組む。それ故、課題研究にも一生懸命取り組む。しかし、学習や学校行事の練習が課題研究のまとめの時期に重なったりすると、教員との面談の時間も実際にまとめをグループで行ったりする時間も確保が難しい。これからの社会に必要な課題解決型の学習や取組は学習にも指導にも時間を要する場合が多い。今後、提出時期の検討や生徒への取組計画等の指導、検討も必要である。

	年度	1年生	2年生	3年生	生徒	1年生 保護者	2年生 保護者	3年生 保護者	保護者	教員
㊶三田高校が、「GE-NET20」に指定されていることを知っていた。	R7	33.5%	56.3%	63.7%	51.5%	55.0%	56.7%	61.0%	57.4%	92.0%
	R6	41.7%	42.8%	50.0%	44.6%	54.2%	57.7%	63.1%	58.2%	88.9%
	R5	39.3%	37.8%	63.8%	46.0%	44.4%	57.4%	70.6%	56.3%	83.0%
㊷「GE-NET20」としての三田高校の事業による成果があがっている。	R7	72.0%	76.0%	77.3%	75.2%	43.3%	42.1%	47.6%	44.3%	83.7%
	R6	69.8%	60.8%	57.3%	62.7%	35.9%	44.0%	43.3%	41.1%	85.2%
	R5	63.6%	54.6%	65.0%	61.0%	39.7%	43.6%	47.5%	43.3%	80.4%

㊶「GE-NET20」「英語教育推進校」から発展的に変わった事業である。「英語教育推進校」時と実施内容は大きく変わらないので、質問の語句を「英語教育推進校」から「GE-NET20」に変更した。しかし、生徒にとっても保護者にとっても、「英語教育推進校」に比べ認知度は低く、生徒、保護者において学年が上がるごとに認知度は高まっている。内部及び外部に向けて分かり易い情報発信の必要性がある。中学生の保護者も高校が東京都からどんな事業指定を受けているのか関心があるだろう。学校は「GE-NET20」等「英語教育推進校」に比べ、内容が名称から想起しにくい事業については、今後丁寧な説明の必要性がある。

㊷成果についても、生徒において上級学年になるにつれ認知が高まるとともに実績も実感していると思われる保護者にとって、実感を得る手立てが少ないためか、低い肯定率であり「わからない」の回答が半数を占めている。英語教育については、昨年度と実施内容は大きくは変わっていない。肯定的回答の減少は、やはり「GE-NET20」がわかりにくかったのが大きな原因と考えられる。

(8) 国際交流リーディング校の事業について

	年度	1年生	2年生	3年生	生徒	1年生 保護者	2年生 保護者	3年生 保護者	保護者	教員
㊸国際交流リーディング校の事業による成果が上がっている	R7	58.5%	72.8%	71.3%	67.2%	49.8%	48.1%	53.4%	50.4%	85.7%
	R6	65.2%	57.0%	57.7%	60.0%	49.4%	44.0%	45.9%	46.4%	87.0%
	R5									

㊸この事業について2・3年生の認知と成果については、学校生活の中で体験的に得た機会が多いため成果としてとらえられ、評価が増加している。保護者にとっては実態を知る手掛かりが少ないため「わからない」が回答の40%を占めている。それに伴い肯定的回答も半数にとどまっている。この項目内容についても外部発信を継続する必要がある。